

北海道に夜間中学をつくる会

2012 年度第 1 回事務局会議

札幌市男女参画センターエルプラザ 4 階 男女参画研究室
出席者（敬称略）：工藤代表、泉事務局長、飯塚、遠藤、工藤（朱）、篠原、白倉、船木、森川

議題

1. パネルディスカッションと第 6 回総会の反省
2. 北海道自主夜間中学交流会 2012 年度第 1 回実行委員会の報告
北海道自主夜間中学フォーラムに向けて
3. 道議会、札幌市議会、道教委、札幌市教委への挨拶回り。
4. 札幌市長との話し合い
5. その他

次回、事務局会議の日程

話し合い

1. について

パネル・ディスカッション「夜間中学の未来を考える」

参加者 74 名

草教諭の「幸せの道をさがす学校」の基調報告は、教諭生活 34 年間の半分を夜間中学に在職しただけに、分かりやすいものであった。会場にこの報告内容の文章も配布されたので、夜間中学のことを「法律にない学校」でありながら、「明日のために学問をす

るより、「今日のために生きる」ためにある学校との紹介が、より参加者に伝わったのではないか。

草教諭が夜間中学で出会った、

①在日コリアンで、差別から学校に行かれず、夜間中学で、今まで胸にためてきた思いを、文字にし、言葉にして人生を綴った喜びを語ったひとのこと。

②日本人女性で、貧しさから学校に行けなかったが、学校に通って勉強し始めると、裸足でまっすぐ歩いて行こうという勇気が湧いてきた、と語ったひとのこと。

③日本人女性で、小児マヒで就学猶予だった人が、学校一のおしゃべりになったこと。

④新しく渡日した外国人生徒が、仕事や生活に必要な文字や言葉の学びのため、おばあちゃん達に交じって勉強するうち、硬かった表情が日一日と和らいで、笑顔をみせるようになったこと。

これら4名の紹介は、夜間中学に入学してくる人たちの事情そのものであり、良い基調報告になった。

また、旭川遠友塾から、因幡さんや生徒さんが参加してくれ、道内4自主夜間中学の現状や抱えている問題を話し合えたのは意義があった。ただ、旭川遠友塾の授業運営についての内部問題、授業が難しいとの生徒の声や生徒とスタッフの間およびスタッフ間の意思

の疎通がない、ことなどは多くの参加者にはなかなか分からないこともあったのではないか。

釧路くるかいは、働きながら学ぶ人たちが多い実情から、「働くための成人基礎教育」を言い釧路市などの支援を得ている。

函館遠友塾では、「義務教育未修了者」を受け入れを掲げていくことが強調して言われていた。

札幌遠友塾では、高齢の義務教育未修了者が少しずつ減ってきて、その一方で、不登校経験者が徐々に増えてきているが、それらの人たちが一緒のクラスで、とっても良い居場所になっていることが話されていた。

道内自主夜間中学それぞれの実情の報告や話し合いの中から、夜間中学の法的支え、立法化への取り組みを必要としてことまで何とか問題を提起し、話し合うことができたのではないだろうか。

2時間半を休憩なしで、話し合ったので、会場参加者が高齢の方が多く、パネラーともに疲れたのではないだろうか。今後は中休みなど適度な休憩を入れるようにしたい。

9月、釧路で行なわれる、フォーラムではこのことなどを考慮しながら、夜間中学のこれからをさらに深めて考えていきたい。

第6回総会について

会員数 192名（過半数 96名）

委任状提出 77名 出席者 27名 合計 104名

総会成立

議案について、全て承認されました。

2. について

シンポジウムから「フォーラム」ワーク・ショップの実施に変更。基調講演については、見城先生にお願いし、承諾してくれた。

大勢でのワーク・ショップになることが予想されるため、その運営になれていないことから、進行をスムーズにするためにも、事前の練習が必要となるのではないか。

交通手段について

札幌から、貸切りバス2台。

旭川から、貸切りバス1台。

函館から、レンタカーを使うこと了解。

宿泊場所の手配。(参加人数の早めの集約)

3. について

6月15日(金) 道教委、札幌市教委挨拶回り

夜間中学の法的根拠付けを質す。

全道4自主夜間中学の現状を説明する

立法化の取り組み

札幌市議会（文教委員）挨拶回り

6月25日 自民党

6月27日 市民ネット、共産党

4. について

7月17日（火）午後3時半予定

5. について

8月3日（金）立法化に向けた国会院内集会参加について

飯塚、工藤、白倉3名の参加

前日、議員会館において道内選出国會議員への趣旨説明。

次回事務局会議

7月5日（木）午後6時半 エルプラザ2階消費者サロン2